

市町村名 (市町村コード)	豊田市 (23211)
地域名 (地域内農業集落名)	藤岡地区 (飯野、石飛、北一色、迫、深見、御内平、田茂平、西中山北、西中山南、藤営、御作、上川口、下川口、木瀬、三箇、大岩、白川、西市野々、石畳、北曾木、折平、上渡合)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月18日 (第3回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題※

- ・担い手の集積・集約化
- ・新規参入の促進、および新規参入者への集積・集約化
- ・耕作放棄地の解消

南部の平坦地と北部の山間地で状況が大きく異なる。南部では有力な担い手への集積が進んでいるが、北部では一部の畑作エリアを除き、集積が進んでいない。※南部の平坦地:西中山のみor西中山+深見+迫  
地域全体として自作意向のある農家は比較的多い(意向調査の回答があったうちの52.4%)が、うち半数以上(53.7%)は後継者がなく、そうした農家の離農により、特に山間地では遊休農地化が急速に進むおそれがある。山間地では有害鳥獣による被害も深刻であり、担い手が参入しつたがらない大きな要因となっている。南部は集積率が高いため、今後一層の営農効率化を図るため、集約化を進める必要がある。北部では担い手の確保が課題。コストの高騰や鳥獣被害対策等の負担などから個人農家の離農傾向は高まっており、いかに自作農家に持続してもらうかが鍵である。

※は実質化された人・農地プランと同程度の項目です。以下同じ。

### (2) 地域における農業の将来の在り方※

- ・田舎と市街地の中間という地理条件を生かし、新規就農者を育成・確保する。
- ・定住も見据えた新規就農者の受け入れ体制を確立する。

(平坦部)

・稲作については、地域の代表的な担い手への集積が一層進むとともに集約化が図られ、営農効率化が向上している。

(山間部)

- ・集落を形成する重要な農地が、自分たちの手で守られている。
- ・既存の田では稲作が継続されている。
- ・畑地では野菜栽培を中心とした新規参入の促進が図られている。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	349.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	258.5 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域を基本とし、農用地の利用状況や支援制度の活用状況等を踏まえて設定する。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針※

- ・集落営農組織を始め、担い手への作業受託の促進を図り、今後更なる農地の集約化を進める。
- ・農地の大区画化等担い手の営農効率化に繋がる環境整備を支援する。
- ・山間地では自作農家の持続的営農に必要な支援策について検討する。集落の会合等で集落営農組織の立ち上げ等の取組について検討を行う。

(2) 農地中間管理機構の活用方針※

- ・農地中間管理機構を活用した農地の集約化を検討する。
- ・集積が進んでいる南部の平坦部では、担い手の意向を踏まえながら、集落の農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付けた上で当該担い手に集約する。

(3) 基盤整備事業への取組方針※

- ・農業用施設の老朽化等の進行状況により、国・県・市の整備事業を活用する。
- ・南部の平坦地では、中間管理機構関連農地整備事業や遊休農地解消緊急対策事業等の活用により、農地の大区画化など、営農効率化向上を目指した基盤整備を検討する。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針※

- ・担い手のいない集落では、市、県、JA等と連携し、集落内での営農組織立ち上げを推進する。
- ・新規参入及び地区外の担い手を呼び込むための効果的なPRを検討・実施する。
- ・農地のランク分けによる優良農地の効果的な斡旋、新規就農のフォローアップ体制の構築により、新規参入を支援する。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針

- ・未耕作の農地を斡旋し、PRをすることで就農を促進する。
- ・所有者の意向を踏まえ、農業協同組合への作業委託を活用する。できる限り集落内で取りまとめて委託する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策※	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--